

平成 23 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講 座	法政理論、比較国際法政、 公共法政、司法政策、 地域公共政策コース
専門科目	民法

【第1問】A夫とB妻は、平成2年に婚姻届を提出した夫婦であり、大阪に居住していた。しかし、AのBに対するDVが激しく、それから逃げるようにしてAに無断でBは岡山に移り住むようになった。そんなある日、BはC男とめぐりあい、いつしか男と女の関係になった後に同居して夫婦同然の生活を送るようになり、Cの勧めもあって、BはAとの離婚を決意し、平成20年9月1日に岡山家裁に離婚調停を申し立てた。しかし、その調停およびその後の訴訟が長引いた結果、離婚が成立したのは平成22年9月1日であった。このように離婚手続が長引いた間もBC間の夫婦同然の関係は続き、その結果、BはCの子を懐胎し、平成22年9月14日にDを出産した。この場合のDとの父子関係をめぐる法律問題について論じなさい。

【第2問】安全配慮義務について論じなさい。